

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月23日

計画の名称	由良町地域住宅整備計画												
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)												
交付対象	由良町												
計画の目標	町民が安心して住み続けられる住まいづくり及び居住環境の向上を図ることを目標とする。 ・町営住宅の長寿命化計画を行い、建物の長寿命化を図るとともに、入居者の居住性及び安全性の向上を図る。 ・空き家(旧原邸)を改修し、地域の活性化に資する施設への改修を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	33	A	33	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成26年当初		平成30年末
1	町営住宅における長寿命化達成管理戸数の割合			
	町営住宅における長寿命化達成管理戸数の割合 (長寿命化計画に基づく修繕戸数) / (管理戸数)	0%	%	15%
2	空き家(旧原邸)の改修率			
	空き家(旧原邸)の改修率 (旧原邸の改修棟数) / (旧原邸の総棟数)	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	由良町	直接	由良町	—	—	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅整備事業等)	公営住宅等ストック総合改善事業	由良町		■	■	■	■		7		策定済
	A15-002	住宅	一般	由良町	直接	由良町	—	—	地域住宅計画に基づく事業(住宅地区改良事業等)	空き家再生等推進事業	由良町	■	■	■	■			26		—
												小計							33	
											合計							33		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

由良町総務政策課において実施

事後評価の実施時期

令和2年1月

公表の方法

町ホームページにおいて掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

町営住宅の外壁等の改修を行うことにより、建物の長寿命化につながり住宅の快適性が向上した。  
空き家を改修することにより、地域の活性化に資する施設となった。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

町営住宅の長寿命化計画に基づき、事業を引き続き実施することにより、建物の長寿命化を進め、安全性の向上を行う。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	15%
	最終実績値	15%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

(参考図面)

計画の名称	由良町地域住宅整備計画		
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)	交付対象	由良町

